

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：四国地方整備局 都市・住宅整備課
担当課長名：舟久保 敏

事業名	ひがしよしのちょうきたおきのす 東吉野町北沖洲線		事業区分	街路	事業主体	徳島県
起終点	ひがしよしのちょう 自：徳島市東吉野町2丁目 至：徳島市北沖洲4丁目 きたおきのす				延長	2.9 km
事業概要	<p>本路線は、一般国道11号吉野川大橋南詰めと徳島市北沖洲の中央卸売市場前を結ぶ道路であり、一般国道11号の渋滞対策やマリンピア沖洲へのアクセス路としての機能を有する。国道側から東側に向かって順次事業着手し、現在、すべての区間において事業化している。</p> <p>吉野川並行部（県事業区間）約2.9 kmのうち西側約1.2 kmについては平成12年度までに完成供用（4車）している。</p>					
昭和56年度事業化（平成13年度変更）	昭和48年度都市計画決定（平成8年度変更）	昭和56年度用地着手	昭和56年度工事着手			
全体事業費：142億円		事業進捗率：81%		供用済み延長：1.2 km		
計画交通量：15,000台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 5.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/194億円 〔事業費：26.5/192.0億円 維持管理費：2.1/2.1億円〕		総便益 (残事業)/(事業全体) 148/304億円 〔走行時間短縮便益：151.0/292.6億円 走行費用減少便益：-3.7/7.7億円 交通事故減少便益：0.83.4億円〕		基準年 平成15年
事業の効果等	<p>1. 活 力：道路容量の拡大、道路の広幅員化による円滑なモビリティの確保、およびマリンピア沖洲へのアクセス性向上などを通じて物流効率化が図られ、徳島市中心市街地における活力向上に資する</p> <p>2. 安 全：交通不能区間の解消や消火活動の支援等が図られる。</p> <p>5. その他：関連する徳島東環状線に対しては交通の適正な分散機能を提供し、四国横断自動車道に対して良好なアクセス環境を提供するなど、大規模道路事業と連携してその有効活用に資する</p>					
関係する地方公共団体等の意見	本道路は「徳島県道路整備プログラム」に位置づけられ、早期完成が望まれている					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業中の（都）元町沖洲線、徳島東環状線や四国横断自動車道等との道路網形成による円滑なモビリティ確保を図る上で本路線の早期完成が望まれている。また、本路線の周辺地域では、マリンピア沖洲（流通施設）並びに宅地化が著しく交通需要が増大し、交通渋滞や生活道路の通過交通による安全性低下などの問題が生じており、良好な住環境の形成ならびに物流の効率化のためにも、早期に完成させる必要がある。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収残18%を早期に完了し、平成19年度の完成を目指す					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き用地買収促進に努めるとともに、買収済み区間より順次工事進捗を図り、平成19年度末の完成供用を目指し、放射環状道路網の整備等、事業効果の発揮を図るものである。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業進捗率が高く完成目標年が間近であり、事業を継続して完成させることの効果が大きい。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次における値を割引率を用いて基準年における価値に換算し累計したものである